

地域一体となって担い手を支援する『サポーター会』が発足しました！ (長与町本川内地区)

長崎地域普及課

令和7年6月、長与町で果樹トレーニングファーム(TF)」の研修生1名が研修を開始し、これに伴い地元農家による「サポーター会」が本川内地区で発足しました。サポーター会では、研修生との定期面談や日々のやり取りを通じて、技術指導や農地情報の提供など、地域に根付くための支援を行っています。

J A長崎せいひでは、みかん産地の担い手不足や高齢化に対応するため、TFを通じて担い手育成に取り組んでいます。TFは、地域の担い手を育成する研修制度であると同時に、優良園地を次世代

へ継承する仕組みとしても重要な役割を果たしています。

サポーター会の活動を通じて、地域全体で新たな担い手を育てる体制が広がっています。



研修生の園地検討会

地域農業の持続的な発展に向けて『県央地域農業の未来づくり推進協議会』が活動展開中

全 域

本協議会はJ Aながさき県央が主体となり、管内2市3町、農業委員会、県を構成員として、令和7年4月に設立されました。

J A各営農センターには推進チームが編成され、担い手の確保・育成への取り組みを現場レベルで進める体制が整えられています。

各推進チームでは、就農希望者の研修受け入れや、研修後の地域での定着を促す仕組みづくりについて協議を重ねてきました。設立から8か月が経過し、地域の実情に応じた検討が進む中で、地域の営農形態を踏まえた戦略品目や施設園芸団地の構想など、各地区の方向性も徐々に明確になってきています。

今後は、生産部会との連携をさらに強化し、地域で描かれた構想を具体的な取組へと展開していく予定です。地域の力を生かした担い手の確保・育成に向けて、協議会一丸となって取組を加速していきます。



担い手確保の仕組みを推進チーム会で検討中



トレーニングファーム先進地を視察調査

『長崎県民の森』にぜひお越しください！

林業課

長崎県民の森は、長崎市と西海市にまたがる広さ 382ha を誇る西日本有数の森林公園です。

標高 500m のこの森では、四季折々の自然と多彩なアクティビティやイベントなど、一年を通して子供から大人まで楽しめる施設となっています。

県民の森内には自然だけではなく、ジャングルジムやターザンロープといった木製遊具など、自然の中で思いっきり体を動かせるアスレチックが充実しており、森林館には雨の日でも遊べる室内遊具や木のボールプールなどもあり、小さなお子様連れも楽しめます。

キャンプ場も併設しており、バンガローやテントサイト、芝生サイトなど様々な宿泊スタイルに対応しており、バリアフリー対応の施設もあるため、初心者からマニアまでどなたでも安心してアウトドアを楽しむことができます。

一年を通して遊びつくる長崎県民の森へぜひお越しください！



交流館前 サクラ



川遊びイベント(8月)



オートキャンプ場バンガロー



冒険広場 ジャングルジム